

創立50周年、盛大に祝う

大垣日大高が記念式典

大垣日大高校の創立50周年記念式典が10日、大垣市林町の同校で開かれ、関係者が節目を祝うとともに、さらなる飛躍を誓った。

同校は高校生の急増を背景に高校設立の要望が高まる中、地域の

自治体、財界、教育界の尽力で1963年、日本大学の準付属高校として開校。これまで2万3674人の卒業生を輩出している。

関係者や生徒、卒業生ら約1千人が出席。学園式典では、同校を

と決意表明した。高校式典では、堤理事長が新たに制定した校是「開拓者たれ」の直筆の額を古田健二校長に贈った。生徒を代表し山田優太君が「新しい校是と、これまでの校訓『誠実・努力・親和』の下、今まで以上に勉強や部活動に取り組みたい」と誓いを述べた。(野中準二)



さらなる飛躍を誓った大垣日大高校の創立50周年記念式典
＝大垣市林町、同校

「開拓者たれ」を校是に

大垣日大高 50周年式典で制定

大垣日本大学高校 創立者がモットーとし
 (大垣市林町)の創立 してきた「開拓者たれ」
 五十周年記念式典が十 を校是に制定した。
 日、同校であった。 式典は四部構成で行
 同校は一九六三年開 われ、七百二人の生徒
 校。五十周年を機に、 が出席した高校式典で

は、古田健二校長が
 「生徒と教職員が車の
 両輪のように手を携
 え、第二の『創世紀』
 を歩みたい」とあいさ
 つ。小川敏大垣市長は



「第二の創世紀」の誓いを述べた生徒代表の山田君(手前)と大熊教諭=大垣日本大学高校で

「スポーツなどでの活躍を通し、大垣の名を全国に広めている。さらに大きく飛躍して」と祝辞を述べた。

堤俊彦理事長が揮毫した校是の額が授与され、山田優太君(三年)が「笑顔や元気のある学校づくりを目指す」、自身も卒業生で柔道部顧問を務める大熊政彦教諭が「歴史の重みをかみしめている。教員としての資質向上に努める」とそれぞれ誓った。

同校の応援歌を作曲した小椋佳さんを招いた「歌談の会」もあった。(山本克也)